

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年6月13日（火）

2 確認箇所

3・4号機超高压開閉所建屋南東側

3 確認項目

4号機主変圧器ケーブルダクト陸側遮水壁横断部閉塞工事の状況

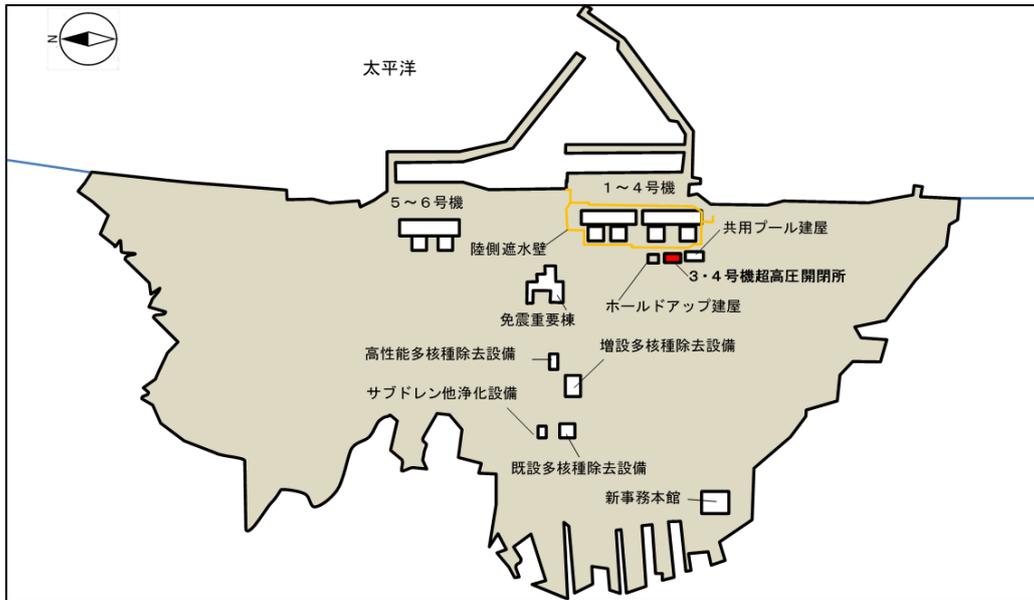
4 確認結果の概要

東京電力は、地下水が原子炉建屋等に流れ込むことで増加する汚染水の発生量を減らすため、1号機から4号機の原子炉建屋やタービン建屋等を囲うように、地中に凍土方式の陸側遮水壁を設置して、山側から海側に向かって流れている地下水を遮水することにより汚染源に「近づけない」取り組みを行っている。

この陸側遮水壁を横断している4号機主変圧器ケーブルダクト（ケーブルを収納する筒状の構造物）は、当該ケーブルダクトを通じて地下水が原子炉建屋等に流れ込まないように、既にその内部にモルタルが充填されている。

先日の現地確認において、当該ケーブルダクト内への追加のモルタル充填工事が実施されていたので、その後の状況を確認した。（図1）

- ・東京電力によると、4号機主変圧器ケーブルダクト内への追加のモルタル充填工事のため、陸側遮水壁と3・4号機超高压開閉所建屋の間にある2つの土地において、ボーリング機材により削孔したとのこと。
- ・先日の現地確認において、4号機主変圧器ケーブルダクト内にモルタルを充填するために削孔するボーリング機材が据え付けられていたが、現地確認時には工事は完了し、地面はコンクリートで打設されていた。（写真1・2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



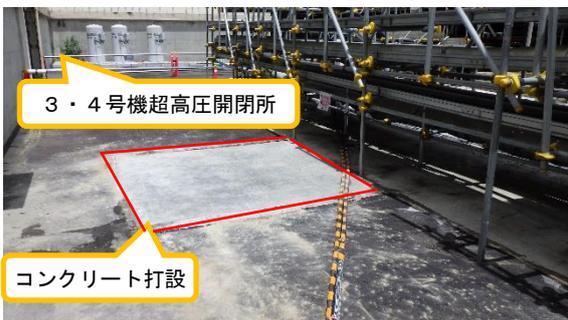
(写真1-1)

3・4号機超高压開閉所建屋南東側の状況（南東側から令和5年4月10日撮影）



(写真1-2)

3・4号機超高压開閉所建屋南東側の状況（赤線囲み部、南東側から令和5年6月13日撮影）



(写真2)

3・4号機超高压開閉所建屋南東側の状況（赤線囲み部、写真1-2の約5m西側に位置、南側から撮影）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。